

令和 8 年度 実施設計書				審査 設計者	
工事番号 (設計書コード)		38 - FE310 - 04 - 15 - 01			
建設工事名		公園施設バリアフリー化第1工区工事			
路線河川名		五十海第1公園		建設工事箇所	
				藤枝市 五十海二丁目 地内	
建設工事金額					
工 期		令和 9 年 2 月 2 6 日限り		週休2日推進工事補正 (週単位(完全週休2日))	
建設工事概要					
便所設置 園路整備		1 20.7		基 m	
歩掛・単価適用年度		令和 8 年 7 月		基本単価	
				令和 8 年 7 月	
				地区コード 220 地区	
起 終 点 指 定		⇔			

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である



位置図

S=1:10,000

工事施工箇所
五十海第1公園

公園施設バリアフリー化第1工区工事

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 基盤整備					
	式	1			
-- 公園土工					
	式	1			
--- 残土処理工					
	式	1			
---- 残土運搬処分 第3種建設発生土					M0203
	m3	20			第 1号表 数量コードZ10
- 施設整備					
	式	1			
-- 給水設備工					
	式	1			
--- 水栓類取付工					
	式	1			
---- 止水栓 給水用青銅製バルブ GV20 10k 3/4B					M0075
	箇所	1			水道事業実務必携改訂版請負工事標準歩掛P191 第 2号表 数量コードKSM

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 作業土工	式	1			
---- 床掘り	m ³	3			SP 5号表 数量コードMT2
---- 埋戻し	m ³	2			SP 6号表 数量コードR12
---- 砂埋戻し	m ³	1			M0120 第 3号表 数量コードR21
--- 給水管路工	式	1			
---- 給水管 HIVPφ20mm	m	2			M0080 公園緑地工事標準歩掛P22 第 4号表 数量コードKK
---- 埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm ダブル	m	2			M0180 第 5号表 数量コードKK
-- 雨水排水設備工	式	1			
--- 側溝工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 張りコンクリート t=50	m	3			M0390 第 7号表 数量コードHC
--- 集水樹・マンホール工	式	1			
---- 集水樹	箇所	1			M0391 第 8号表 数量コードSS
--- 管渠工	式	1			
---- 排水管理設 VUφ100	m	5			M0348 第 10号表 数量コードHK
---- 埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm ダブル	m	5			M0180 第 5号表 数量コードHK
--- 汚水樹・マンホール工	式	1			
---- 小口径樹設置 樹径φ150 塩ビ製蓋	箇所	1			数量コードSM
-- 電気設備工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 作業土工	式	1			
---- 床掘り	m ³	20			SP 5号表 数量コードMT3
---- 埋戻し	m ³	10			SP 6号表 数量コードR13
---- 砂埋戻し	m ³	6			第 3号表 数量コードR22
--- 照明設備工	式	1			
---- 接地 D種	箇所	1			M0060 土木工事標準積算基準書（電気通信編） 第 11号表 数量コードST
--- 電線管路工	式	1			
---- 電気引込設備	式	1			M0351
---- トイレ電源設備	式	1			第 13号表 M0395
	式	1			第 18号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-- 園路広場整備工	式	1			
--- コンクリート系舗装工	式	1			
---- 園路整備A	m	18			M0019 第 26号表 数量コードPRA
---- 園路整備B	m	3			M0020 第 27号表 数量コードPRB
---- 土間コンクリート	m ²	7			M0389 第 28号表 数量コードDC
---- 地先境界ブロック	m	12			再設置 SP 16号表 数量コードYL1
--- 作業土工	式	1			
---- 掘削	m ³	5			SP 17号表 数量コードMT1
-- 管理施設整備工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 作業土工	式	1			
---- 床掘り	m ³	0.1			SP 5号表 数量コードMT5
---- 埋戻し	m ³	0.1			SP 6号表 数量コードR15
--- 車止め工	式	1			
---- 車止め W=700	式	1			M0388 第 29号表
-- 建築施設組立設置工	式	1			
--- 作業土工	式	1			
---- 床掘り	m ³	1.0			SP 5号表 数量コードMT4
---- 埋戻し	m ³	5			SP 6号表 数量コードR14

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 便所工					
---- 便所本体 TOR-10381-1 オストメイト 同等品以上	式	1			
---- 便所 設置	基	1			共通仮設費対象外 見積 数量コードWC M0130
--- 構造物撤去工	基	1			第 30号表 数量コードWC
--- 公園施設撤去工	式	1			
---- 便所撤去	式	1			
---- 地先境界ブロック撤去	基	1			M0382 見積 第 35号表 数量コードWCT
---- 地先境界ブロック撤去	m	12			再利用 SP 20号表 数量コードYL1
---- 地先境界ブロック撤去	m	9			処分 SP 21号表 数量コードYL2
---- コンクリート構造物取壊し 無筋コンクリート	m ³	1			M0357 第 37号表 数量コードMC

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- コンクリート構造物取壊し 鉄筋コンクリート	m ³	1			M0386 第 39号表 数量コードYC
-- 仮設工	式	1			
--- 交通管理工	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 41号表
直接工事費計					
工種区分 No. 9 公園工事					
共通仮設費 (市街地 (DID補正) (1) - 3)	式	1			
共通仮設費計					
純工事費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場管理費 (市街地 (DID補正) (1) - 3)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
アスベスト分析	式	1			M0384
	式	1			第 42号表
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

園路広場整備工

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
園路整備A	P R A (0 2)	$= 1.31 + 16.21$ $= 17.520$
園路整備B	P R B (0 2)	$= 3.16$ $= 3.160$
土間コンクリート	D C (0 2)	$= 4.0 * 2.0 - 0.8 * 0.8$ $= 7.360$
縁石再設置	Y L 1 (0 2)	$= 7.6 + 1.9 + 2.7$ $= 12.200$
機械掘削	M T 1 (0 6)	$= 20.4 / 100 * PRA + 25.5 / 100 * PRB + 15.0 / 100 * DC$ $= 20.4 / 100 * 17.52 + 25.5 / 100 * 3.16 + 15.0 / 100 * 7.36$ $= 5.480$
園路整備	P R (0 3)	$= PRA + PRB$ $= 17.52 + 3.16$ $= 20.680$

給排水設備工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
給水管	K K (0 2)	= 2. 4			
		= 2. 4 0 0			
					
止水栓	K S M (0 2)	= 1. 0			
		= 1. 0 0 0			
					
排水管	H K (0 2)	= 4. 5			
		= 4. 5 0 0			
					
小口径桧	S M (0 2)	= 1. 0			
		= 1. 0 0 0			
					
集水桧	S S (0 2)	= 1. 0			
		= 1. 0 0 0			
					
張りコンクリート	H C (0 2)	= 2. 7			
		= 2. 7 0 0			
					
機械床掘	M T 2 (0 6)	= 2. 2 / 10. 0 * K K + 2. 6 / 10. 0 * H K + 1. 2			

給排水設備工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
埋戻し（流用土）	R 1 2 （ 0 6 ）	= 2.2 / 10.0 * 2.4 + 2.6 / 10.0 * 4.5 + 1.2		
		= 2.900		
埋戻し（砂）	R 2 1 （ 0 6 ）	= 1.0 / 10.0 * KK + 1.0 / 10.0 * HK + 0.9		
		= 1.0 / 10.0 * 2.4 + 1.0 / 10.0 * 4.5 + 0.9		
		= 1.590		
		= 1.2 / 10.0 * KK + 1.6 / 10.0 * HK		
		= 1.2 / 10.0 * 2.4 + 1.6 / 10.0 * 4.5		
		= 1.010		

電 気 設 備 工（電気引込）			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
電線管HI-VE22	V E 3 （ 0 3 ）	= 4. 0 = 4. 000			
2号コネクタ	C N 1 （ 0 2 ）	= 1. 0 = 1. 000			
エントランスキャップ	E C 1 （ 0 2 ）	= 1. 0 = 1. 000			
ステンレスバンド	S B 1 （ 0 2 ）	= 4. 0 + 2. 0 + 2. 0 = 8. 000			
可とう電線管	P F 1 （ 0 2 ）	= 3. 4 = 3. 400			
ボックスコネクタ	B C （ 0 2 ）	= 4. 0 = 4. 000			
ケーブルEM-EEF-2C	E M 4 （ 0 2 ）	= 6. 0			

電気設備工（電気引込）

数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
ケーブルEM-EEF-2C	E M 4 （ 0 2 ）	= 6.000
ウォールボックス	W B 1 （ 0 2 ）	= 1.0 = 1.000
漏電遮断器	R S 1 （ 0 2 ）	= 1.0 = 1.000
端子台	T D 1 （ 0 2 ）	= 1.0 = 1.000
計器用取付板	K T 1 （ 0 2 ）	= 1.0 = 1.000
ポールバンド金具	P B K （ 0 2 ）	= 1.0 = 1.000

電気設備工（トイレ電源）

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
ポリエチレン管	F E P (0 2)	= 47.3 = 47.300
電線管HI-VE28	V E 1 (0 2)	= 2.8 = 2.800
異種間接手	P F H (0 2)	= 2.0 = 2.000
ベルマウス	V M (0 2)	= 2.0 = 2.000
ノーマルバンド	N B (0 2)	= 2.0 = 2.000
2号コネクタ	N B 2 (0 2)	= 2.0 = 2.000
ワールドダクター	W D 1 (0 2)	= 1.0

電気設備工（トイレ電源）

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
ワールドダクター	WD 1 (0 2)	= 1.000
ダクタークリップ	DC 1 (0 2)	= 1.0 = 1.000
ステンレスバンド	SB 2 (0 2)	= 2.0 = 2.000
ケーブルEM-CE	EM 1 (0 3)	= 52.0 = 52.000
電線EM-IE	EM 3 (0 3)	= 4.0 = 4.000
接地	ST (0 2)	= 1.0 = 1.000
埋設表示杭	MHK (0 2)	= 3.0 = 3.000

電気設備工（トイレ電源）

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
ハンドホール	HH1 (02)	$= 1.0$ $= 1.000$
機械床掘	MT3 (06)	$= 3.7 / 10 * (FEP - 1.0) + 27.2 / 10 * HH1$ $= 3.7 / 10 * (47.3 - 1.0) + 27.2 / 10 * 1$ $= 19.850$
埋戻し（流用土）	R13 (06)	$= 2.5 / 10 * (FEP - 1.0) + 22.3 / 10 * HH1$ $= 2.5 / 10 * (47.3 - 1.0) + 22.3 / 10 * 1$ $= 13.810$
埋戻し（砂）	R22 (06)	$= 1.2 / 10 * (FEP - 1.0)$ $= 1.2 / 10 * (47.3 - 1.0)$ $= 5.560$

建築施設組立設置工

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
便所	WC (02)	= 1.0 = 1.000
機械床掘	MT4 (06)	= 11.2 = 11.200
埋戻し（流用土）	R14 (06)	= 4.5 = 4.500

管理施設整備工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
車止め	C S (0 2)	=	2. 0		
		=	2. 000		
					
機械床掘	M T 5 (0 3)	=	0. 1		
		=	0. 100		
					
埋戻し（流用土）	R 1 5 (0 3)	=	0. 1		
		=	0. 100		

構造物取壊し工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
無筋コンクリート	MC (02)	= 0.20 + 0.29 + 0.07			
		= 0.560			
					
鉄筋コンクリート	YC (02)	= 0.55			
		= 0.550			
					
便所	WCT (02)	= 1.0			
		= 1.000			
					
縁石撤去（処分）	YL2 (02)	= 8.8			
		= 8.800			

土工		
数量調整表		
数量調整表優先		
名 称	コード	計 算 式
機械床掘	MT (06)	$\begin{aligned} &= MT1 + MT2 + MT3 + MT4 + MT5 \\ &= 5.48 + 2.9 + 19.85 + 11.2 + 0.1 \\ &= 39.530 \end{aligned}$
埋戻し（流用土）	R10 (06)	$\begin{aligned} &= R12 + R13 + R14 + R15 \\ &= 1.59 + 13.81 + 4.5 + 0.1 \\ &= 20.000 \end{aligned}$

建設発生土			
土 量 調 整 表			
発生土登録表 発生土 変化率	**（発生土→埋戻土→盛土）流用表** 発生土 - - - - 流用順位 - - - -	**残土処理場指定表** 発生土 処理順位	**残土処理容量指定**
MT 40 0.90	MT 1 番目 R10 機械 40 → 20	MT 1 番目 Z10 40 → 18	Z10 99,999
			Z11 99,999
	盛土内訳指定表 盛 土 流用土 不足土 R10 R99 F99 20 = 20 + 0		
			残土量合計 Z10 18
			Z11 0

MO203					
残土運搬処分 第3種建設発生土					
第 1号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬	m3	100			SP 1号表
残土処分 処分地：駿遠開発事業（株）切山残土処分場 牧之原市切山字真菰沢594ほか47筆	m3	120			
計					
単価	m3				

MOO75					
止水栓 給水用青銅製バルブ GV20 10k 3/4B 第 2号表					
金 円 10 箇所 当り 水道事業実務必携改訂版請負工事標準歩掛P191					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
普通作業員					1
	人				
給水用青銅バルブ (止水栓) GV20 10k					
	個	1.0			
バルブボックス (鑄鉄製弁柵蓋) B1					
	個	1.0			
硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径200 長4.0m					
	本	1.4			
コンクリート					
	m3	0.1			SP 2号表
型枠					
	m2	1.4			SP 3号表
基礎碎石					
	m2	2.2			SP 4号表

MO075					
第 2号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
諸経費					
	%				
計					
単価					
	箇所				

MO120		砂埋戻し				第 3号表	
金 円		100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
埋戻し		m3	100			SP 7号表	
砂		m3	126				
諸雑費		式	1				
計							
単価		m3					

M O O 8 0					
金 円		100 m 当り		公園緑地工事標準歩掛P22	
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
耐衝撃性硬質ビニル管 HIVP φ20mm 4.0m/本	本	25			1 2
HIVP割増率	%				2
配管工	人				
継手材料	%				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MO180					
埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm ダブル					
第 5号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm ダブル	m	100			
管明示シート工	m	100			第 6号表
計					
単価	m				

管明示シート工

第 6号表

金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
諸雑費					
計	式	1			
単価	m				

MO390					
張リコンクリート					
t=50					
第 7号表					
金 円 10 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
コンクリート		m3	0.2		SP 2号表
型枠		m2	1		SP 3号表
基礎碎石		m2	4		SP 4号表
計					
単価		m			

M O 3 9 1					
集水樹					
第 8号表					
金 円 1 箇所 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
現場打ち集水樹・街渠樹 (本体)		箇所	1		SP 8号表
排水構造物 蓋版 据付け 蓋版 (各種)		枚	1		500×500 T-25 110° 第 9号表
計					

排水構造物 蓋版 据付け
蓋版 (各種)

第 9号表

金 円 1 枚 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
排水構造物工 (蓋版) 屋間単価 時間的制約 無 鋼製 40kg/枚以下 機・労	枚	1			1 標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
[補正係数: 週休2日補正]	X				
補正後標準単価	枚	1			
蓋版	枚	1			
諸雑費	式	1			
計 (合計金額対象外は除く)					

MO348					
排水管理設 VVφ100					
第 10号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
暗渠排水管					
		m	100		SP 9号表
計					
単価					
		m			

MOO60						接地 D種	第 11号表
金 円 1箇所 当り						土木工事標準積算基準書（電気通信編）	
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
電工		人					
管内配線 EM-IE 3.5mm2 仕上外径4.0mm		m	4			M0349 土木工事標準積算基準書（電気通信編） 第 12号表 数量コードEM3	
連結式接地棒 φ10×1500mm		本	1				
丸型アース棒用リード端子 φ10用		個	1				
諸雑費		式	1				
計							

MO349 管内配線 EM-IE 3.5mm2 仕上外径4.0mm 第 12号表					
金 円		100 m 当り		土木工事標準積算基準書（電気通信編）	
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工	人				
電線 EM-IE 3.5mm2	m	100			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MO351		電気引込設備		第 13号表	
金	円	1 式 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電線管敷設 VE管 22mm以下 露出配管 径22	m	4			M0280 第 14号表 数量コードVE3
2号コネクタ (HI-VE22用)	個	1			数量コードCN1
エントランスキャップ (HI-VE22用)	個	1			数量コードEC1
電線管支持用ステンレスバンド SFT-N005同等品 リンガ'サト'WSFW-10含む	個	8			数量コードSB1
合成樹脂製可とう電線管敷設 22mm以下 (径22)	m	3			M0250 第 16号表 数量コードPF1
ボックスコネクタ PF22 二重管用	個	4			数量コードBC
管内配線 20mm以下 EM-EEF 2.0mm2×2C 仕上外径10.2mm	m	6			M0290 土木工事標準積算基準書 (電気通信編) 第 17号表 数量コードEM4
ウォールボックス WBJ-3DKM鍵付き 同等品	個	1			見積 数量コードWB1

MO351					
第 13号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
安全漏電遮断器 GB-1ZA型 同等品	個	1			数量コードRS1
端子台 TBE-24 同等品	個	1			見積 数量コードTD1
計器用取付板 B-2U型 同等品	枚	1			見積 数量コードKT1
ポールバンド金具 POB-3FT 同等品	組	1			見積 数量コードPBK
諸雑費	式				
計					

M0280電線管敷設VE管 22mm以下 露出配管 径22					
第 14号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電線管敷設 VE管 22mm以下 露出配管 径22	m	100			M0240 土木工事標準積算基準書（電気通信編） 第 15号表
計					
単価	m				

M O 2 4 0		電線管敷設 VE管 22mm以下 露出配管 径22		第 15号表		
金	円	100 m 当り		土木工事標準積算基準書（電気通信編）		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
耐衝撃硬質ビニル電線管HIVE 径22A 長4.0m		本	25			
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

M O 2 5 0		合成樹脂製可とう電線管敷設 22mm以下 (径22)		第 16号表		
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
合成樹脂製可とう電線管 PF-D管 径22		m	100			
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MO290					
管内配線 20mm以下 EM-EEF 2.0mm2×2C 仕上外径10.2mm					
第 17号表					
土木工事標準積算基準書（電気通信編）					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
電工		人			
低圧電力用ケーブル 20mm以下 EM-EEF 2.0mm2×2C		m	100		
諸雑費		式	1		
計					
単価		m			

M O 3 9 5 トイレ電源設備						第 18号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
波付硬質合成樹脂管敷設 FEP30 埋設	m	47			土木工事標準積算基準書（電気通信編） 第 19号表	M0065 数量コードFEP
電線管敷設 VE管 36mm以下 露出配管 径28	m	3			土木工事標準積算基準書（電気通信編） 第 20号表	M0330 数量コードVE1
異種管接続材料 FEP30用 H型	組	2				数量コードPFH
ベルマウス FEP30用	個	2				数量コードVM
ノーマルバンド VE28用	個	2				数量コードNB
2号コネクタ VE28用	個	2				数量コードNB2
ダクター取付	個	1			第 21号表	M0397 数量コードWD1
電線管支持用ステンレスバンド SFT-N005同等品 リングサト ⅡSFW-10含む	個	2				数量コードSB2

M O 3 9 5					
第 18号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
管内配線 20mm以下 EM-CE 5.5mm2×2C 仕上外径13.5mm	m	52			M0230 土木工事標準積算基準書（電気通信編） 第 22号表 数量コードEM1
ハンドホール 国交省型 600×600×H600 中耐蓋R2K-60	基	1			M0396 第 23号表 数量コードHH1
埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm 2倍折	m	47			M0070 土木工事標準積算基準書（電気通信編） 第 24号表 数量コードFEP
埋設標設置 コンクリート製 80×80×300 標識プレート共	個	3			M0270 第 25号表 数量コードMHK
諸雑費	式				
計					

MO065					
波付硬質合成樹脂管敷設 FEP30 埋設					
第 19号表					
金 円 100 m 当り					
土木工事標準積算基準書 (電気通信編)					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工	人				
波付硬質合成樹脂管 波付ポリエチレン電線管 (FEP) 径30	m	100			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

M O 3 3 0		電線管敷設 VE管 36mm以下 露出配管 径28		第 20号表		
金	円	100 m 当り		土木工事標準積算基準書（電気通信編）		
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
耐衝撃硬質ビニル電線管HIVE 径28A 長4.0m		本	25			
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MO397					
ダクター取付					
第 21号表					
金 円 10 個 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工	人				
ワールドダクターチャンネル S-D1S15 同等品	個	10			
ダクタークリップ S-DC31D C28 同等品	個	10			
諸雑費	式				
計					
単価	個				

MO230 管内配線 20mm以下 EM-CE 5.5mm2×2C 仕上外径13.5mm 第 22号表					
金 円		100 m 当り		土木工事標準積算基準書（電気通信編）	
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工	人				
低圧電力用ケーブル EM-CE 5.5mm2×2C	m	100			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MO396					
ハンドホール 国交省型 600×600×H600 中耐蓋R2K-60					
第 23号表					
金 円 10 基 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
プレキャストマンホール		基	10		SP 10号表
基礎碎石		m2	6.4		SP 4号表
計					
単価		基			

MOO70					
埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm 2倍折					
第 24号表					
金 円 100 m 当り					
土木工事標準積算基準書 (電気通信編)					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
電工	人				
埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm 2倍折	m	100			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MO270		埋設標設置 コンクリート製 80×80×300 標識プレート共		第 25号表		
金	円	10 個 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
地中埋設標 コンクリート製 80×80×300 標識プレート共		個	10			
諸雑費		式	1			
計						
単価		個				

MOO19 園路整備A					
第 26号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
下層路盤 (歩道部)	m2	120			SP 11号表
コンクリート	m3	8.4			SP 12号表
型枠	m2	14			SP 13号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MOO20 園路整備B					
第 27号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
下層路盤 (歩道部)	m2	150			SP 11号表
コンクリート	m3	10.5			SP 12号表
型枠	m2	14			SP 13号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MO389 土間コンクリート					
金 円 100 m2 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート	m3	10			SP 14号表
異形鉄線溶接金網 CD6 網目150×150	m2	100			
下層路盤(歩道部)	m2	100			SP 15号表
計					
単価	m2				

MO388					
車止め W=700					
第 29号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
車止め 門型 (蓋・錠前付き) φ60.5×700×650 ステンレス					
		基	2		数量コードCS
コンクリート					
		m3	0.1		SP 2号表
型枠					
		m2	1		SP 3号表
基礎碎石					
		m2	0.3		SP 18号表
諸経費					
		式	1		
計					

MO130 便所 設置					
第 30号表					
金 円 1 基 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
運搬費					コメント行
運搬費	基	1			見積
組立据付費					コメント行
便所組立据付費	基	1			M0385 見積 第 31号表
基礎工事費					コメント行
基礎碎石	m2	9.9			SP 4号表
基礎コンクリート (21-18-25N)	m3	1.5			SP 19号表
型枠	m2	2.2			SP 13号表

MO130					
第 30号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
根巻コンクリート (21-18-25N)	m3	1.4			SP 19号表
型枠	m2	7.7			SP 13号表
(国基準)鉄筋加工・組立 一般構造物 異形棒鋼 D13mm規格品SD295	t	0.17			第 32号表
計					

MO385		便所組立据付費				第 31号表	
金 円		1 基 当り		見積			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
普通作業員		人					
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排対型 (3次基準)] 25t吊		時、日				換算損料 (損料表13欄)	
諸雑費		式					
計							

(国基準) 鉄筋加工・組立 一般構造物 異形棒鋼 D13mm規格品SD295					
第 32号表					
金 円 1 t 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
(国基準) 鉄筋加工 異形棒鋼 D13mm規格品SD295	t	1			第 33号表
(国基準) 鉄筋組立 (一般構造物) 鉄筋径: 10 - 13mm	t	1			第 34号表
計					

(国基準) 鉄筋加工 異形棒鋼 D13mm規格品SD295					
第 33号表					
金	円	1 t 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
鉄筋工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型25t吊					
	日				
異形棒鋼 SD295A D13					
	t	1.03			
諸雑費					
	%				
計					

(国基準) 鉄筋組立 (一般構造物) 鉄筋径: 10 - 13mm					
第 34号表					
金	円	1 t 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
土木一般世話役					1
鉄筋工					1
普通作業員					1
ラフテレーンクレーン オペレータ付き 油圧伸縮ジブ型25t吊					
諸雑費					
計					

MO382					
便所撤去					
第 35号表					
金 円 1 基 当り 見積					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
トイレ撤去費 養生費用を含む		式	1		
撤去殻運搬費		式	1		
撤去殻処分費		式	1		
計					

MO394		トイレ撤去費 養生費用を含む				第 36号表	
金	円	1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
特殊作業員							
		人					
普通作業員							
		人					
計							

M O 3 5 7		コンクリート構造物取壊し 無筋コンクリート		第 37号表		
金	円	10 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし		m 3	10			第 38号表
殻運搬		m 3	10			SP 22号表
C o 殻処分 (無筋) 処分地：(株)紅林建材 藤枝市高洲82-4		m 3	10			
計						
単価		m 3				

構造物とりこわし					
第 38号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（無筋構造物） 屋間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔補正係数：K1〕 低騒音・低振動対策の場合	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

M0386		コンクリート構造物取壊し 鉄筋コンクリート		第 39号表		
金	円	10 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし		m3	10			第 40号表
殻運搬		m3	10			SP 23号表
Cの殻処分（鉄筋） 処分地：(株)キャラバン 藤枝市潮字泉堂395-3		m3	10			
計						
単価		m3				

構造物とりこわし					
第 40号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（鉄筋構造物） 屋間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔補正係数：K1〕 低騒音・低振動対策の場合	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

交通誘導警備員

第 41号表

金 円 1 式 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
交通誘導警備員B					
		人	4		2日、2人
計					

MO384

アスベスト分析

第 42号表

金 円

1 式 当り

積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
アスベスト分析 (定性) 天井・内壁材、外壁材、天井材	検体	3			
計					

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
土砂等運搬	土砂等発生現場＝小規模，積込機種・規格＝バックホウ山積 0. 2 8 m 3 （平積 0. 2 m 3），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），D I D 区間の有無＝有り，運搬距離＝2 7. 0 k m 以下	SP 1 号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝1 8 - 8 - 2 5 （2 0）- B B W / C 6 0 % 以下	SP 2 号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝小型構造物	SP 3 号表
基礎碎石	碎石の厚さ＝7. 5 c m を超え 1 2. 5 c m 以下，碎石＝碎石の種類 選択 &碎石規格＝再生クラシャーラン（R C - 4 0）	SP 4 号表
床掘り	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模） ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 5 号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 6 号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（砂・砂質土）	SP 7 号表
現場打ち集水枠・街渠枠（本体）	コンクリート＝コンクリート規格 選択，1 箇所当りコンクリート使用量＝0. 3 0 m 3 を超え 0. 3 2 m 3 以下，コンクリート打設工法＝人力打設，養生工の種類＝一般養生・特殊養生（練炭） &コンクリート規格＝1 8 - 8 - 2 5 （2 0）- B B W / C 6 0 % 以下	SP 8 号表
暗渠排水管	作業区分＝据付，管種別＝直管，呼び径＝5 0 - 1 5 0 m m	SP 9 号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
暗渠排水管	&暗渠排水管	SP 9号表
プレキャストマンホール	作業区分＝据付，製品質量＝2000Kg／基以下，基礎碎石＝無しまたは円形断面以外 ＊マンホール一式	SP 10号表
下層路盤（歩道部）	施工区分＝1層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝100mm，&路盤材規格＝再生下層路盤材 40-0	SP 11号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝18-8-25（20）-BB W／C 60％以下	SP 12号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝鉄筋・無筋構造物	SP 13号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝18-8-25（20）-BB	SP 14号表
下層路盤（歩道部）	施工区分＝1層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝150mm，&路盤材規格＝再生下層路盤材 40-0	SP 15号表
地先境界ブロック	作業区分＝再利用設置，ブロック規格＝C種 L＝600，基礎碎石の有無＝有り，均し基礎コンクリート規格＝無し &基礎碎石（標準値＝1）＝再生クラッシャーラン RC-40	SP 16号表
掘削	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模），施工数量＝標準以外 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 17号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
基礎碎石	碎石の厚さ＝7. 5 c m以下，碎石＝碎石の種類 選択 &碎石規格＝再生クラッシャーラン（R C - 4 0）	SP 1 8 号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート（各種）	SP 1 9 号表
地先境界ブロック撤去	再利用区分＝再利用を目的とした撤去	SP 2 0 号表
地先境界ブロック撤去	再利用区分＝処分を目的とした撤去	SP 2 1 号表
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（無筋）構造物とりこわし，積込工法区分＝機械積込，D I D区間の有無＝有り，運搬距離（k m）＝ 8. 0 k m以下	SP 2 2 号表
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし，積込工法区分＝機械積込，D I D区間の有無＝有り，運搬距離（k m）＝ 5. 7 k m以下	SP 2 3 号表

積算基準の「見積参考資料」

- ・この「見積参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約約款第1条にいう設計図書ではありません。
- ・この「見積参考資料」の有効期限は、本建設工事の入札日までとします。

建設工事名： 公園施設バリアフリー化第1工区工事

建設工事箇所： 藤枝市 五十海二丁目 地内

本建設工事の工事価格の積算に使用した積算基準は以下のとおりです。

名称： 便所組立据付費

規格： _____

摘要： 見積

1 基当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	摘 要
普通作業員	人	6	
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排対型（3次基準）〕 25t吊	時、日	4	
諸雑費	式		

積算基準の「見積参考資料」

- ・この「見積参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約約款第1条にいう設計図書ではありません。
- ・この「見積参考資料」の有効期限は、本建設工事の入札日までとします。

建設工事名： 公園施設バリアフリー化第1工区工事

建設工事箇所： 藤枝市 五十海二丁目 地内

本建設工事の工事価格の積算に使用した積算基準は以下のとおりです。

名称： トイレ撤去費

規格： 養生費用を含む

摘要：

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	摘 要
特殊作業員	人	6	
普通作業員	人	4	

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

（受注者の責務）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書

(適用)

第1条 本特記仕様書は、受注者が熱中症対策に資する現場管理費率の補正を希望する場合に、受発注者間協議により適用することができる。

(用語の定義)

第2条 この特記仕様書における用語の定義は次のとおりとする。

- (1) 真夏日 日最高気温が30℃以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。
- (2) 工期 工事着手日から工事完了日前の受発注者間で協議した日までの期間をいう。ただし、当該機関に年末年始を含む工事では年末年始休暇分として6日間、7月、8月又は9月を含む工事では夏季休暇分として3日間、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
- (3) 真夏日率 工事着手日から工事完了日までの期間（以下「工事期間」という）中の真夏日を工期で除した割合をいう。なお、真夏日率の算定は次の算定式によるものとする。

【算定式】真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

※小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位止めとする。

- (4) 補正值 真夏日率に補正係数を乗じた値をいう。なお、補正值の算定は次の算定式によるものとする。

【算定式】補正值（％）＝真夏日率×補正係数

※補正係数は1.2とする。

※真夏日率及び補正值は、小数点以下第3位を四捨五入して、小数点第2位止めとする。

(気温の計測方法等)

第3条 受注者は工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載するものとする。なお、気温の計測方法は次のとおりとする。

- (1) 計測方法 工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温、又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上になる日を真夏日と見なす。なお、施工箇所が点在する工事へ適用する場合は、主工事の施工箇所の最寄りの地域気象観測所の気温を用いる。

ただし、森林工事においては工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温のみを適用することとする。また、これによりがたい場合は、あらかじめ監督員と協議の上、最寄りの気象庁の地域気象観測所、気象業務法（昭和27年法律第165号）に

基づき気象庁以外の者が行う気温の計測結果又は工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法で得られた気温の計測結果を用いることもできる。

なお、計測資料の取得又は計測に要する費用は受注者の負担とするものとする。

- (2) 気温の補正方法 気温の補正は森林工事のみに適用するものとし、(1)で得られた気温の計測結果(工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた気温の計測結果を除く。)は、次の算定式により補正を行うものとする。ただし、気象条件又は現場条件によりがたい場合は、監督員と協議の上、補正方法を決定するものとする。

【算定式】補正後の気温(℃)＝気温(℃)－標高差(m)×0.6/100(m)

※補正後の気温は、小数点第2位四捨五入1位止めとする。

ただし、標高差(m)＝工事現場の標高(m)－計測箇所の標高(m)」

(気温計の設置高さがわかる場合は、計測箇所の標高に加算すること)

※標高差の値は、小数点第1位四捨五入整数止めとする。

(計測結果の報告方法)

第4条 計測結果の報告方法は次のとおりとする。

受注者は監督員と事前に協議した提出期日までに真夏日率及び補正値を算出し、真夏日率等算定表(第1号様式)を発注者に提出するものとする。

真夏日率等算定表

工事名：

受注者：

現場代理人：

熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書に基づき、真夏日率等を下記の通り算出したので、提出します。

項目	細目	数量	単位	備考
工期：	工事着手日			
	計測完了日			
	工事中止期間等		日	年末年始6日、夏季休暇3日 工場製作、全面中止期間等
	工期		日	①
真夏日（暑さ指数）：			日	② 算出根拠から自動出力
真夏日率：				=真夏日②÷工期①
補正值：			%	=真夏日率×1.2

※黄色ハッチ部を記入
※マニュアルを参照すること
※自動で出力される値は参考である。

遠隔臨場の実施に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等により映像及び音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことをいう。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、所定の日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場で確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

（機材等の手配・仕様）

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が 28.5% 以上の場合を 4 週 8 休以上とする。
- (4) 週休２日 対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休２日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、１週間に２日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が 28.5% に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が 28.5% 以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

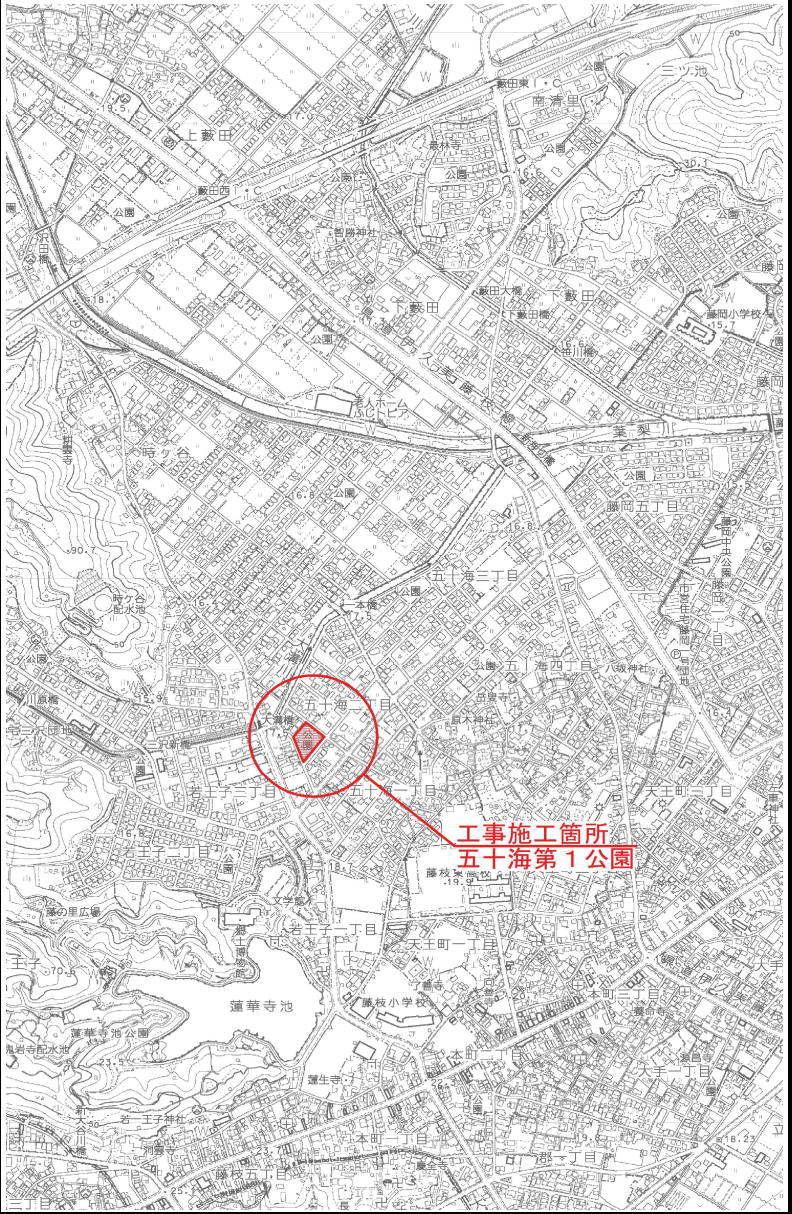
第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

地下埋設物調査書 (公園施設バリアフリー化第1工区工事)

埋設物	埋設状況			管理者		位置図
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側	
水道管	管理図により無いことを確認した。			伊藤		
ガス管	管理図により無いことを確認した。			伊藤		
大井川広域水道企業団	管理図により無いことを確認した。			伊藤		
大井川土地改良区	管理図により無いことを確認した。			伊藤		
N T T ケーブル	管理図により無いことを確認した。			伊藤		
中部電力ケーブル	管理図により無いことを確認した。			伊藤		
下水道管	管理図により無いことを確認した。			伊藤		